

商工会 ExpressNews

1月増刊号

2018年が皆様にとって飛躍の年となりますように!



2018年トレンド予想

成年の2018年のトレンドや消費のキーワードになりそうなものについてまとめてみました。

○明治150年

今年は、明治元年から数えて丁度150年目にあたります。NHKの大河ドラマも幕末から明治にかけて活躍した西郷隆盛を主人公とした『西郷どん(せごどん)』がスタートしています。米国のトランプ政権や北朝鮮の脅威等により国際情勢が不安定な現在を激動の幕末と重ね合わせて考える方も多いのではないのでしょうか。

○ソニーの「aibo」発売

かつて15万台以上販売した犬型ロボット。12年ぶりに発売されます。AI(人工知能)を搭載し、飼い主になつき写真撮影もします。価格は20万円ですが、散歩や世話を見るのが大変な高齢者のペットとして人気となりそうです。

○韓国・平昌(ピョンチャン)冬季オリンピック

注目は、ワールドカップで快進撃を続けているスピードスケートと羽生結弦が間に合うか心配なフィギュアスケートでしょうか。スケート人口が増加しているようです。

○2020年に向けた東京再開発

2020年の東京オリンピックに向けて再開発が進む東京において、日本橋の高島屋が「日本橋高島屋SC」が開業します。重要文化財である高島屋日本橋店を含む4つの建物に、周辺の専門店を加えて“街歩きを楽しめるゾーン”に整備されます。営業時間を夜遅くまで延長し消費者のライフスタイルに適合したショッピングエリアを形成します。

○民泊新法6月施行

大阪市など特区に限られていた民泊。6月に施行される住宅宿泊事業法(民泊新法)により全国で民泊が可能となる。最近では外国人だけでなく日本人の利用者も増え、様々な個性的な施設が登場している。治安面等に心配が残るという意見も・・・。

2017年高山市の観光入り込み者数

今月4日に高山市は、昨年1年間の観光客入り込み者数が460万人を超え、過去最多になるとの推計を公表した。過去最多だった一昨年の451万1千人を更新し460万人を超える見通しだ。高山祭の屋台行事がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを記念したイベントや飛騨一宮神社の式年大祭などで観光客が伸びたと思われる。下半期は天候不順などで昨年を下回ったものの前半の貯金が功を奏した。また、外国人宿泊者数も前年を大きく上回り過去最高の51万人となること推計されている。市海外戦略課によると、エリア別ではアジアが60%を占め、欧州が19%と続く。国・地域別では、台湾・香港・中国の順で多かった。

働き方改革を考えよう!

常軌を逸脱した長時間の時間外労働による自殺等が引き金となって職場環境の整備や時間外労働時間の削減を中心に働き方改革が国レベルで叫ばれるようになってきました。一方、少子高齢化に端を発する労働力不足は、介護・飲食・サービス業を中心に深刻さを増し、付加価値が増えないのに賃金が上昇するという経済の理論に合わない現象を引き起こしています。

今考え直さなければならないのは、“本当の働きやすい職場”とは何か?ということを社内で考える事なのかもしれません。職場を構成する社員の方々は、職業人という顔以外に『夫』『妻』であったり『父親』『母親』という顔も持っています。また、人生を豊かにする趣味やボランティア活動をしている方もいます。ワーク・ライフ・バランスという言葉に象徴されるように、仕事と家庭と人生を楽しむ時間をバランス良く使いこなすことが求められるのかもしれません。

労働力の点から見る!有効求人倍率(H29年10月)

全国	岐阜県	高山管内
1.55↑	1.70↑	1.48↑

【ミニ解説】有効求人倍率は低下傾向、求職職者数は増加傾向にある。事務や製造業では求人倍率が1を下回っている。

お気軽にお電話下さい!

高山北商工会本所 ☎72-4130

☎丹生川 78-2002 / ☎上宝 86-2354